



—東地中海地域ニュース—

エジプト：ムスリム同胞団最高指導者の辞意表明

(10月19日付現地各紙)

19日付現地各紙は、ムスリム同胞団最高指導者アーキフ氏の辞意表明について報じている。概要は次の通りである。

1. アーキフ最高指導者の辞職報道

- (1) ムスリム同胞団のアーキフ最高指導者は最高指導者の地位からの辞表を提出し、ムハンマド・ハビーブ第一副最高指導者に、来年2月の最高指導者選出選挙実施までの同胞団運営調整任務を委ねた。
- (2) 同胞団幹部達は、ハビーブ第一副最高指導者よりも年上であり、幹部の間で（後任者として）承諾がある人たちが存在するにもかかわらず、自身の任務をハビーブ副最高指導者に委譲するというアーキフ最高指導者の決定を拒否した。

2. 辞職報道の背景

- (1) アーキフ最高指導者の辞職は、「改革派」幹部の指導部入りをめぐり、アーキフ最高指導者とマフムード・エザット幹事長をはじめとするオールド・ガードの幹部との間の対立が緊張化している時に報じられた。
- (2) 情報筋によれば、10月18日に開かれた会合で、ハビーブ第一副最高指導者とエザット幹事長により、イサーム・エルヤーン同胞団シューラ評議会メンバー兼政治局員を同胞団指導部メンバーに昇格させることを激しく反対されたことに激怒したアーキフ指導者は、同会合を終了させ、ハビーブ第一副最高指導者に最高指導者の任務を委ねて帰宅した。

3. 辞職報道をめぐる反応

- (1) 同胞団指導局内部筋は、アーキフ最高指導者が辞表を提出したという報道の真偽を明らかにしていない。また、報道によれば、同胞団幹部らはこの辞職報道に困惑している。
- (2) アーキフ最高指導者の秘書であるマスウード・スブヒーは辞職報道を否定した。また、アブデルムヌイム・アブデルマクスード同胞団顧問弁護士は、「辞職について報じられていることは全て正しくない。アーキフ最高指導者は、まだ指導者の地位にいる」と述べた。

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799